

令和8年度島根大学大学院

教育学研究科入試問題（I期）

《教育実践開発専攻（専門職学位課程）》

小論文

注 意

- 1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙1枚、解答用紙2枚、下書き用紙2枚である。
指示があってから確認し、解答用紙と下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は、解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙は、持ち帰ること。

受験番号

現行の学習指導要領*1は、生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」といった、グローバル化やAIの技術革新が進み、社会の変化が激しい時代に対応するために必要な資質・能力を確実に育成することを目指している。

特に、AI時代を生きる児童生徒が学習活動で生成AIをツールとして使いこなすことは重要である。そして、生成AIは児童生徒だけではなく、教師が業務の効率化・高度化の観点から積極的に用いることで、校務の効率化や質の向上等、教員の働き方改革への効果が期待されている。

なお、生成AIを学校現場で利活用する際には、生成AIを人間の能力を補い、拡張し、可能性を広げてくれる有用な道具として捉える必要があるが、出力される情報は「参考の一つ」ということを認識し、リスクや懸念を踏まえつつ、最後は使用者が判断し、自ら責任を持つことが重要である*2。

*1 政府広報オンライン <https://www.gov-online.go.jp/article/201903/entry-8992.html#secondSection>

*2 初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン(ver. 2.0)
https://www.mext.go.jp/content/20241226-mxt_shuukyo02-000030823_001.pdf

問1

生成AIを使用する際のリスクや懸念について200文字程度で説明しなさい。

問2

生成AIを使用する際のリスクや懸念を踏まえて、教員の校務（児童生徒の指導、学校の運営、外部対応）または児童生徒の学習活動のいずれかで、生成AIの利活用が考えられる具体的な取り組みを提案し、800文字程度で説明しなさい。